



▼Contents

- 1 ちょぺこん報告
- 2 部活動 3 年間で振り返って③
- 3 夢を見るから人生は輝く

1 ちょぺこん報告



7 月 23 日（水）北通り総合文化センター「ウイング」において、ウイングちょぺっとコンサート（ちょぺこん）が開催され、**軽音楽同好会**、**吹奏楽部**が出演し、大盛況を納めました。3 年生にとっては最後の演奏会となり、3 年間の成果を大きく発揮してくれました。

2 部活動3年間を振り返って③

私たちは3年生になってから文化祭に向けてバンドを組み練習してきました。初めての活動で緊張や心配など沢山ありましたが、当日はいい演奏ができたと思います。その中でも、初めて話した人たちとも音楽を通して心を通じ合えたのではないかと思います。楽器を始めた頃は、部活に入っていると思わなかっただろうし、文化祭で披露なんて考えてもいなかったと思います。軽音楽同好会に入ってまたひとつ成長することが出来たと思います！

後輩の皆さん、これからも町を盛り上げるために活動を頑張ってください！軽音楽同好会の皆さんありがとうございました！

軽音楽同好会



高校の吹奏楽は中学とは違い、自分たちで考え自分たちで動く、ほぼ全て生徒たちだけで創り上げていく部活でした。活動する中で沢山苦しいことがありましたが、そこを乗り越えた分、楽しいと思えることの方が多く、私たちにしかない雰囲気で大間高校吹奏楽部を創ることができて良かったです。

理恵先生、自由にわいわい活動させてくれてありがとうございました！後輩たち！理恵先生をよろしく頼んだよ！

吹奏楽部部長

3 夢を見るから人生は輝く～モーツァルト～

夢を見るから、人生は輝く。
音楽は自らの人生であり、人生は音楽である。
このことを理解できない人は、神に値しない。
音楽は決して耳ざわりであってはならない。
むしろ耳を満足させ楽しみを与える、
つまり常に「音楽」でなくてはならない。

～ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト～



オーストリア
ウィーンブルグ公園
モーツァルト像

人生というものは音楽そのものです。それぞれの「音」が感情や環境で変化し、様々な「音」が協和音や不協和音となり、もっと多くの「音」が集まると「交響」する。

「自分」という「楽器」を長い間、完全に思うがまま操れるよう日々練習し、そして、他の「音」と協和できるような「音」を出してあげて、相手の良さを引き出す。そうこうしていくと、その人の周りには様々な「人生の音」が響いていくでしょう。

「神童」と言われたモーツァルトは、晩年苦しい生活が続き 35 歳という若さで亡くなります。他人から見れば「つらそう」「きつそう」と思ったかもしれません。

それでも、自らの求める音楽を夢見たモーツァルトの人生は輝いていたでしょう。自らの人生という「音楽」で、他者の人生に楽しみを与える。「夢を見る」から目標に向かって進むことができ、「音楽」によって人生は作られ光り輝くことでしょう。